みどりの風

千代田界隈のレトロな風景

ぎんなん

今年もたくさんなりました。（星小にて）

2021.11.1
−NO.278−

発行　社会福祉法人 悠朋会
相模原市中央区千代田２-４-１
千代田デイサービスセンター
０４２-７５１-０６７２
ヘルパーステーション千代田
０４２-７０４-０２６１
千代田介護支援センター
０４２-７０４-０２８１
児童クラブ　いちばん星
０８０-５８６５-１５８６
ホームページアドレス
www.yuhokai-kaigo.com

人・ひと日記

小林　功

今年のノーベル物理学賞を真鍋淑郎さんが受賞。海と空、水蒸気、赤外線。。。物理現象を組み合わせるモデルを作り、条件を変化させ地球上に起こる気候変動への影響を研究する。大気中の二酸化炭素に着目した研究で５０年以上も前から地球の温暖化を予測し、現在は気候危機として世界共通の課題として取り上げられる先駆けとなった功績。直近の国際会議（IPCC）では「人間の活動が気候変動を引き起こし、極端な気象現象を起こりやすく、激しくしていることには議論の余地が無い」と言及し、対策は待ったなしの状況としています。今年の夏熱波に見舞われたドイツの総選挙では国民が最も注目し、政党も論戦を戦わせたテーマは温暖化問題であったと報道されました。日本でも衆議院選挙の真っ最中で各党の主張が入り乱れていますがその中に「温暖化、環境、エネルギー・・・」の話がまったくと言っていいほど出てこないのはなぜでしょう。

「気象」の世界では、朝ドラのモネちゃんが地球規模ではなく、地方のピンスポットのお天気を予測する事業に取り組んでいます。気候変動は１００年を考えるのに対し、気象予報は数時間～数日の変化を問題にします。

最近テレビの天気予報の番組に新キャスターが次々に登場し華やかになったと感じます。気象にも、気候にも関心を持ちましょう。

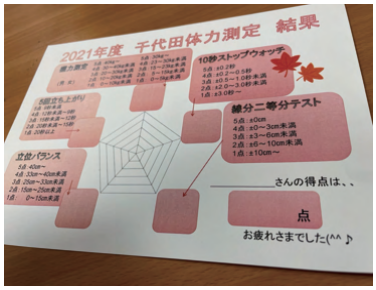
新型コロナの感染者数が急速に減少しています。人との接触の最小化、消毒、マスクの着用、換気、検温、ワクチン接種等々、あらゆる対策を講じてきましたがどれが効いたとは言えません。相乗効果も考えにくい・・・。気が付いていない因子があってそれが無くなったことがキッカケに？・・・これも無理がある。

症状に出ない感染がかなりあり、免疫が広がった。そこへワクチンの接種が進み、「集団免疫」の状態に到達した・・・とは言えないでしょうか？。

原因が科学的に解らないのは、次も起こりうるということです。緊張はまだまだ続きそうです。

スポーツの日

10月の11日、21日は千代田デイサービスセンターのスポーツの日でした。
例年は『運動会』ですが、今年はオリンピックイヤーという事もあって『スポーツの日』！！
もちろん雨天決行です♪
利用者さんには「バスケット」や「ラグビー」、「重量挙げ」などオリンピックにもちなんだ種目や、運動会種目と言えば定番の「玉入れ」を楽しんで頂きました。



また、去年ご好評いただいた「体力測定」も実施しました。なかには昨年の体力測定の記録用紙をお持ちの　方もいて、一年前のご自身の記録と見比べる方もいらっしゃいました♪

また、スポーツの日メニューとして、これも運動会の定番中の定番！
大きなおにぎりの入ったお弁当♪
何となく懐かしみながらもみなさん召し上がっていたご様子です♪

11月16日(火)にスポーツの日（最終日）が予定されていますので、お楽しみに☆

書道	11日(木)、26日(金)
スポーツの日	16日(火)
体重測定	8日(月)～14日(日)
誕生会	24日(月)～30日(日)

ケアマネのつぶやき

世界アルツハイマーデー及び月間　をご存じでしょうか。
1994年「国際アルツハイマー病協会」は、世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。
1994年9月21日、スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催されました。会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と宣言し、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的としています。今回は認知症についての取り組みを紹介します。

「オレンジリング」が認知症サポーターのシンボルになっています。江戸時代の陶芸家、柿右衛門が編み出した柿の色の磁器が海外でも高く評価されていて、それと同じように「オレンジ＝認知症サポーター」という認識が世界中に広まる様に、との思いが込められているそうです。また、暖かみのある色＝手助けしますよ　というイメージを拡げる事も期待されています。

家族会や定期的な相談会、認知症カフェに参加しています。当事者の方とその介護者の話を聞き、相談があれば可能な範囲でお答えできるようにしています。コロナのこともありなかなか対面では難しい時期もありましたので、zoomでのオンラインカフェに参加したりしています。

認知症になっても働きたい、地域の役に立ちたい、得意なことで活躍したい、と願う方は多いのではないでしょうか。ケアマネジャーとしてそんな声を多く聞きます。少しでも活躍できる場づくりをしたいと思い、活動しています。
月1回、ゆうゆう農場にて畑仕事をしています。認知症の当事者の方も一緒に働き、おみやげとして新鮮な卵と採れたて野菜をもらっています。
その他、ソフトボールや、ボッチャ、バーベキューなど活動しています。

診断やお薬のことで、北里大学病院の認知症疾患医療センターに相談することもあります。専門医が丁寧に話を聞き、検査を行い、診断や薬の調整を行います。
センターでの勉強会が毎月あるので参加しています。専門医や看護師、事業所の方たちと一緒に勉強しています。

オレンジガーデニングプロジェクトとして、相模原市内のご協力いただける皆様にマリーゴールドの種をお配りし育てていただきました。9月のアルツハイマー月間に向けて市内で一斉にオレンジの花を咲かせようというプロジェクトです。地域包括支援センターや施設、商店街、個人の皆様のご協力があり、各所でオレンジの花を目にすることができました。認知症について知り、考えるきっかけになればと思います。

職員随走リレー
～其の十五～

デイサービス
福嶋　明美

北海道　バイク旅

何度か飛行機で行ったことのある北海道。でも何か物足りず、、、

２０１９年夏、念願の夢が叶い、友人と二人、バイクで北海道ツーリングに行くことが出来ました。

仙台からフェリーに乗り、北海道の地へ。写真で見る北海道美瑛町にある青い池がみたくて、何か月も前から計画を練って実現となりました。

思っていた以上に池は真っ青で、食べ物は美味しく行く先々で感動しました。でも何より自分のバイクで北海道にいることが一番の感動でした。

今年ももう一度あの感動を味わいたく９月はじめ出発を予定していましたが、コロナで神奈川県緊急事態宣言。その直後北海道も。残念でした。

でもまた来年リベンジできること、そのために新たに計画を立て実行することの楽しさ。

今からわくわくしています。

新人職員紹介

伊藤　秀男

所沢生まれの
青森育ち

18 年前に相模原市に家族５人で引っ越してきました。特技はバレーボール（全国出場）、スキー、シュノーケリングと体育会系です。
趣味はジョギング、小田和正のライブを楽しみにしています。

10 月に入職してまだま不慣れな事ばかりですが、地元に根差したアットホームな雰囲気の職場で、皆さんに支えられながら頑張っています。

感謝の心と常に学ぶ気持ちを忘れず、地域の皆さんと共にに歩んでいきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

編集後記

ビール代がお小遣いを圧迫している現状があり焼酎に変更してみました。４ℓで２５度のやつです。コーラや炭酸水、カルピスなどで割って楽しんでいます。１週間はもつようにゆっくり飲んでいます。まんざらでもない感じです。Ｈ